

講義名	研究演習 (全学部)		
講義コード	25231	授業形態	
担当教員	綿貫 真也	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限
		オンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
各学部の全学科	次世代マーケティング・リサーチ (消費者神経科学)

概要説明

本ゼミでは、マーケティング戦略課題に対して(顧客価値の創造など)、以下の次世代マーケティング・リサーチの手法を積極的に活用していきます。特に、本ゼミでは、消費者神経科学(コンシューマニューロサイエンス)の研究アプローチの基礎を学びます。

- 1) 脳神経科学の生理学的基礎
- 2) 脳神経科学と心理現象
- 3) 脳神経科学のマーケティングへの応用(ニューロマーケティング)
- 4) 脳神経科学と心理に関する分析手法

主な卒業論文のタイトル

- ・不人気ビジネスであるパチンコ産業再生の戦略-既存ユーザーの活用による売り上げの上昇
- ・ブランドラブ(ブランド愛)の神経基盤について
- ・ブランド愛関係ダイナミクスの神経メカニズム

教員よりの要望

・プログラムスキルや数学的な知識、医学・生理学的基礎知識などは必要としません。PCは使用しますが、プログラミングはしません。また、医学・生理学的知識などは、ゼミ内で講義するので、その都度学んでいきましょう
 ・個人で使用できるPC(家庭に1台あるということではなく、自分だけが自由に使用できるという意味)があったほうが、より発展的な学修・研究が可能になりますが、必須ではありません。

選考方法

自己紹介書類、面接など

評価方法	
ゼミ参加度、課題への取り組み姿勢など 講義形式の変更があった場合でも成績評価方法は変更しない	

教員英字氏名	研究室
SHINYA WATANUKI	研究棟 203

最終学歴
慶應義塾大学文学部卒業 / 横浜国立大学大学院環境情報学府 博士課程後期修了

学位
博士(工学)

主な研究活動・社会活動・研究業績
https://researchmap.jp/swatanuki

趣味・特技
グラフィックデザイン・茶道・コーヒーの焙煎

所属
商学部

所属学会
日本マーケティング学会、日本消費者行動研究学会、日本感性工学会、コンピュータ利用教育学会

専門分野
ブランド戦略論、マーケティングリサーチ、消費者行動論、消費者神経科学、機械学習・知能情報学(人工神経回路網モデル・進化計算論)

担当科目
消費者行動論、消費者行動特論(大学院)、マーケティング・データ分析、マーケティング・リサーチ、流通概論、流通科学入門、研究演習1・2、教養特講1、プロデュース論

備考

実務経験の有無及び活用
「実務経験あり」。実際に、社会・企業で要請される能力を軸として、企業人を要請するための指導をしていきます。そのために、本ゼミでは、学生を子供ではなく、企業社会における1社会人として扱います。